

教職員、企業・自治体、起業家などを対象に大阪・QUINTBRIDGEで開催
「失敗」を学びに変えるアントレプレナーシップ教育を体験
文部科学省『MEXT 秋のアントレ祭！2026 in 関西』を開催

アントレプレナーシップ教育アワード受賞教員らの実践共有、
体験型ワークショップ、企業・自治体との交流も

株式会社角川アスキー総合研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：垣貫真和）は、運営事務局を務める文部科学省主催のアントレプレナーシップ教育イベント『MEXT 秋のアントレ祭！2026 in 関西 アワード教員たちと始める、失敗を学びとする「授業の作り方」』が、2026年11月6日（金）・7日（土）の2日間、大阪市のQUINTBRIDGEで開催されることをお知らせします。

「失敗を学びに変える」をテーマに、アントレプレナーシップ教育アワード受賞教員らによる実践共有、体験型ワークショップ、基調講演、交流会などを実施。教職員、企業、自治体、起業家などが、授業づくりや教育分野での共創について学び、交流する2日間です。



■『秋のアントレ祭！2026』とは

「挑戦に失敗はつきもの。試行錯誤のプロセスそのものを最高の学びへ」——。「秋のアントレ祭」は、子どもたちの挑戦と失敗を称賛できる学校現場を目指し、先生自身の挑戦と失敗を応援する、大人のための祭典です。

VUCA時代を生き抜く子どもたちにとって、失敗を恐れず挑戦する姿勢が大切です。しかし教育の現場では、「正解を教えなければ」「失敗させてはいけない」というプレッシャーから、「子どもたちに挑戦させること」の難しさに悩む先生も少なくありません。そんな先生方に、実際の事例から「失敗を挑戦の糧へと捉え直す視点」のヒントをお伝えします。

今回は、第一線で活躍するアントレプレナーシップ教育アワード受賞教員（2026年3月表彰）たちから、現場の泥臭い試行錯誤や「失敗（しくじり）から生まれた最高の授業づくり」のノウハウを共有します。

11月6日（金）のDay1は、文部科学省のインプットトーク、参加者が失敗を共有する「しくじりシェア」、関西の実践者によるピッチや交流会を実施。7日（土）のDay2は、受賞教員による「しくじりピッチ」、5つの体験型ワークショップ、日野田直彦氏の基調講演を予定しています。



2026年3月20日開催「MEXT 春のアントレ祭！2026」の様子

■Day1「知る・出会う日」 11月6日（金）

文部科学省の最新動向から、関西の実践者との交流まで

Day1では、文部科学省担当官による「文部科学省が推進するアントレプレナーシップ教育」をテーマとしたインプットトークを実施します。

さらに、参加者同士が身近な失敗を共有する「しくじりシェア」、関西でアントレプレナーシップ教育に取り組むプレイヤーが実践や共創のアイデアを紹介する「120秒マシンガンピッチ」を予定しています。

最後には、登壇者や参加者が交流する「関西アントレ教育プレイヤー大交流会」を開催。教育現場、企業、自治体、支援者など、立場を越えた新たな連携のきっかけをつくります。

主なプログラム

- ・17:00～ 開会挨拶
- ・17:05～ 文部科学省インプットトーク
- ・17:25～ アイスブレイク「しくじりシェア」
- ・17:45～ 120秒マシンガンピッチ
- ・18:30～ 関西アントレ教育プレイヤー大交流会
- ・19:30 終了

※プログラムおよび各開始時間は、都合により変更となる場合があります。

■Day2「体験する・学ぶ日」 11月7日（土）

アワード受賞教員の実践と5つのワークショップから授業づくりを学ぶ

Day2では、アントレプレナーシップ教育アワード受賞教員らが、自身の失敗とそこから得た学びを紹介する「しくじりピッチ」を実施します。進行は、立命館小学校・学校法人立命館起業事業化推進室教育開発統括の正頭英和氏が務めます。

その後、5会場で体験型ワークショップを同時開催。エフェクチュエーション、探究学習、教材づくり、ゲーム型授業など、アントレプレナーシップ教育を授業に取り入れるための実践的なテーマを扱います。

16時25分からは、大阪夕陽丘学園理事長の日野田直彦氏が「学校が変わる、教員が変わる！挑戦を恐れないアントレプレナーシップ学校経営」をテーマに基調講演。教員自身の意識改革から始める学校づくりや、挑戦を後押しする学校組織について語ります。

主なプログラム

- ・14:00～ オープニング
- ・14:05～ アワード教員から学ぶしくじりピッチ
- ・14:45～ 体験型ワークショップ（5会場同時開催）
- ・16:25～ 基調講演
- ・17:00～ ネットワーキング・交流会
- ・17:30 終了

※プログラムおよび各開始時間は、都合により変更となる場合があります。 ※Day2はオンラインでも視聴できます。

■開催概要

イベント名：MEXT 秋のアントレ祭！2026 in 関西

テーマ：アワード教員たちと始める、失敗を学びとする「授業の作り方」

開催日時：

・Day1「知る・出会う日」 2026年11月6日（金）17:00～19:30

・Day2「体験する・学ぶ日」 2026年11月7日（土）14:00～17:30

会場：QUINTBRIDGE（クイントブリッジ）大阪府大阪市都島区東野田町4丁目15番82号

対象：教職員、企業・自治体、本イベントに関心のある方

定員：ステージ企画 150名、ワークショップ 各20～40名、オンライン（Day2のみ）定員なし

参加費：無料

本イベントの詳細、参加方法については公式サイトをご覧ください

https://www.mext.go.jp/entrepreneurship-education/event_202610/

アワード教員から学ぶしくじりピッチ 進行（Day2）

正頭英和氏（立命館小学校・学校法人立命館起業・事業化推進室 教育開発統括）

2019年のGlobal Teacher Prizeにおいて、世界150ヵ国以上、3万人のエントリーの中から、日本人小学校教員初となるTop10に選ばれ、「世界の優秀な教員10人」となる。桃鉄教育版のエデュテイメントプロデューサーなどもつとめている。主な著書に『世界トップティーチャーが教える子どもの未来が変わる英語の教科書』（講談社）などがある。



基調講演（Day2）

日野田直彦氏（学校法人大阪夕陽丘学園 理事長／大阪夕陽丘学園高等学校 校長）

学校法人大阪夕陽丘学園理事長。36歳で大阪府立箕面高校の民間人校長に就任後、数々の学校改革や再建を成功させる。「学校再生請負人」として海外進学、探究・アントレ教育の推進や多様な学校経営支援を行う。



体験型ワークショップ 講師（Day2）※順不同

正頭英和氏（立命館小学校・学校法人立命館起業事業化推進室 教育開発統括）

吉田 満梨氏（神戸大学 大学院経営学研究科・教授）

池田 巧氏（東京電機大学中学校・高等学校 入試広報部 部長）

芹澤 和彦氏（クラーク記念国際高等学校 業務推進部）

大野 圭司氏（株式会社ジブンノオト 代表取締役）

■企業・自治体など教育関係者以外の参加も募集

本イベントでは、教職員だけでなく、企業、自治体、起業家、教育支援者等の参加も募集します。

地域や企業と連携した新たな教育に取り組みたい方、次世代の起業家・イノベーター育成に関わりたい方、学校現場の実践者となつたり共創のヒントを得たい方などが、教育現場の実践者と直接交流できる機会です。

■角川アスキー総合研究所のアントレプレナーシップ教育支援

角川アスキー総合研究所は、企業・官公庁・自治体などと連携し、アントレプレナーシップ教育をはじめとする教育・人材育成分野で、事業企画、イベント、コンテンツ制作、情報発信などの支援に取り組んでいます。

教育現場の実践者と、企業・自治体・専門家など多様なプレイヤーをつなぎ、学びの機会の創出からコミュニティ形成、情報発信までを組み合わせることで、教育に関する社会課題の解決を支援していきます。

■アントレプレナーシップとは

聞いたことがない、聞いたことがあるけどもうまく説明できない、という方もいるかと思いますが、文部科学省ではアントレプレナーシップとは「どのような状況でも、自らの枠を超え、新たな価値を生み出していく精神」だととらえています。

挑戦したいことがあるけど怖くて勇気が出なかったり、やり方がわからない状況において、悩みを解決していきたい、自分も世の中を良くしたい！といった想いを実行に移す力を指します。

■株式会社角川アスキー総合研究所について

角川アスキー総合研究所は、メディア運営やコンテンツ制作で培った知見を生かし、調査、コンサルティング、マーケティング、ビジネスソリューション、出版、教育支援など幅広く事業を展開しています。コンテンツ力、メディア力、リサーチ力を総合的に活用し、企業・自治体・官公庁などのお客様が抱える課題の解決に取り組めます。

公式サイト：<https://www.lab-kadokawa.com/>

本件に関する法人・団体からのお問い合わせ先

角川アスキー総合研究所 企業・団体向けサポート窓口

E-mail：info@lab-kadokawa.com

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社角川アスキー総合研究所 広報担当 堀

press-cp@lab-kadokawa.com